

# 平成28年度第1回庄原市教頭研修会

平成28年6月3日(金)  
庄原市総合体育館

庄原市教育行政施策の方針を踏まえ、今日的教育課題の解決に向けた方策や組織的な学校運営のための教頭の果たすべき役割について理解することを通して、自校の学校運営のより一層の充実と改善に資することをねらいとして実施しました。

## 平成28年度サテライト研修講座

講話・演習「カリキュラム・マネジメントで学力向上を目指す！学校サポート」講座

広島県立教育センター 教科教育部 村田 耕一 指導主事

「カリキュラム・マネジメントとは？」「なぜ、カリキュラム・マネジメントが必要なの？」について理解し、演習を通して、カリキュラムマネジメント・モデルを用いた分析の方法や改善のポイントを学びました。

そして、実際に、カリキュラムマネジメント・モデルを用いて自校の課題を分析し、解決のために、教頭として具体的にどのように取り組んでいくのかを考え、交流しました。

### カリキュラム・マネジメントのベースとなる考え方

- ・課題解決志向 課題と問題は違う。どこの学校にも課題はある。
- ・子供中心志向 子供を起点として課題を捉え解決を考える。
- ・関連性と協働性 目標、カリキュラム、教科、領域、人等の「つながり」
- ・創造性 現状維持は停滞を意味する。「やりながら考えよう」



### 【参加者アンケートから】

- 「カリキュラム・マネジメント」は難しいというイメージがあったが、具体的にどう取り組めばよいかを学ぶことができた。自校は研究の積み上げに課題があるので、改善学習指導案の作成、10分間の授業参観、「ほっとカード」等、取り入れていきたい。
- 組織を活性化させ、子供に力を付けるヒントをたくさんいただいた。分析シートをもとに、定期的に課題と改善状況を分析し、共有したい。
- 課題の関連性を捉え、解決策を講じることにより教職員のモチベーションを向上させること、更に、その取組の中で協働性を引き出していくことに取り組みたい。
- 管理職と主任だけでなく職員全体でカリキュラム・マネジメントについて議論し、見直していくことで、各自の役割が明確になり、組織力の向上につながる実感ができた。